

経営比較分析表（令和2年度決算）

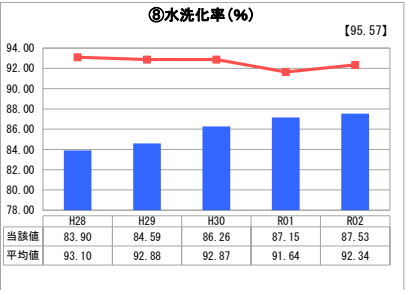
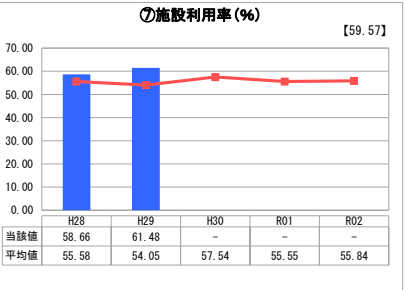
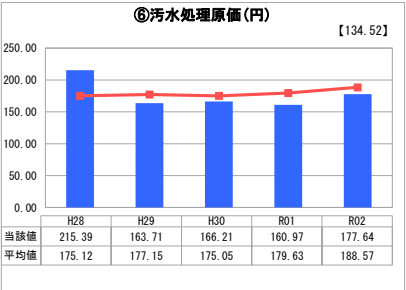
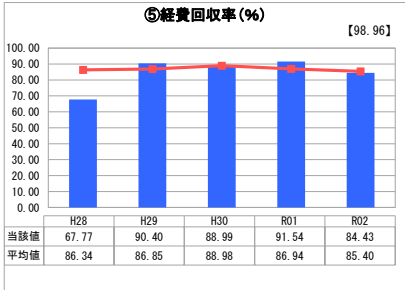
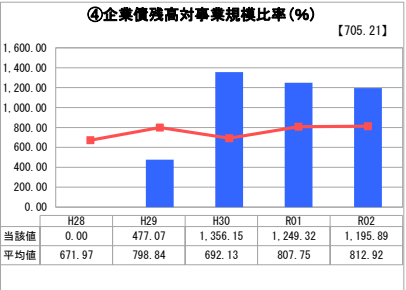
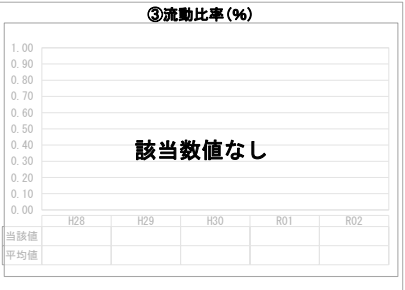
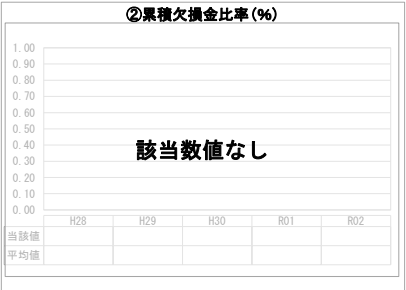
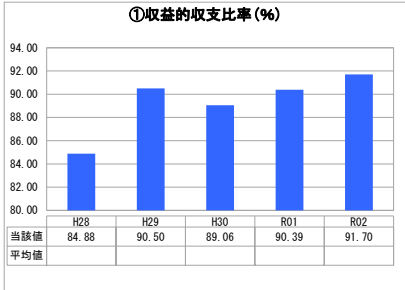
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	37.10	86.23	2,690

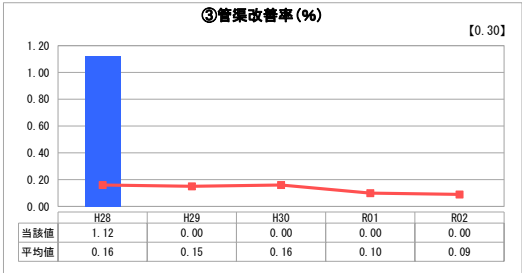
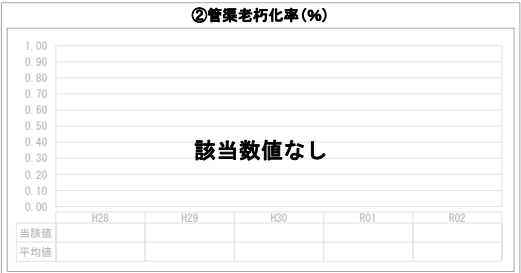
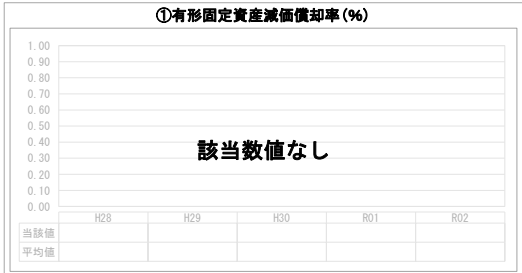
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,282	781.08	23.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,722	3.56	1,888.20

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

人口減少による過疎化の進行や節水意識の高まりなどが影響し、使用料収入の停滞が続いているため、収益的収支比率は100%未満となっているが、改善傾向にある。

経費回収率は類似団体と同程度だが、横ばい状態が続き未だ100%を下回っているため、コストの節減に努めていく必要がある。

企業債残高対事業規模比率は少しずつ減らす事が出来ている。今後も施設の更新や設備改修を計画的に行い、企業債の有効活用を図っていく。

汚水処理原価は横ばい状態であるが、類似団体より低い水準にある。今後ストックマネジメント計画による資本投資の増額に伴い、原価は上昇していく見込みの為、使用料収入の確保やコスト節減に向けて取り組む必要がある。

施設利用率は流域下水道に接続しているため、計上されない。(H29年度以前は計上誤り)

水洗化率は年々増加傾向にあるが類似団体よりも低い水準にあるため取り組みを強化していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後40年以上経過した施設があり、老朽化が進んできている。各施設の維持管理を適正に行いながら計画的な改修・更新を行う必要があるため、ストックマネジメント計画を策定する予定である。

全体総括

人口減少による過疎化の進行や節水意識の向上等により使用料収入の確保が厳しい状況となっているが、利根川源流域の水質保全や生活環境の維持向上のため、当町の下水道事業は重要な役割を担っている。

下水道事業の健全な経営には、使用料収入の確保、未接続の解消、老朽化施設の更新・改修等課題が多いため、経営戦略やストックマネジメント計画をふまえ、計画的な事業実施をしていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。